

令和4年3月23日に文教福祉委員会を開催し、所管する事務事業の調査を次のとおり行いました。

報告事項

体育施設指定管理者変更に伴う引継ぎ状況について

～内容～

令和4年度から体育施設の指定管理者が変更になることに伴う引継ぎの状況について報告を受けました。

総社デニムマスクについて

～内容～

デニムマスクの春モデルの販売について報告を受けました。

～質疑～

問： 売上げが下がってきているということだが、令和2年度と比較して令和3年度の販売状況はどうか。

答： 令和2年度末時点の販売状況は約26万枚であった。令和3年度の現時点での販売状況は2万枚ということで、売上げは下がってきている。令和2年度は予約の枚数が膨大で、健常者の方へ作製の一部を作業委託したという状況があったが、令和3年度については、健常者へ作業委託することなく、事業所の方で作製できているため、収益につながっている状況である。

問： この事業は実行委員会が主体となって実施しないと障がい者雇用につながらないと感じるが、今後の方向性はどうか。

答： 実施主体はあくまでも実行委員会であるので、事業所が自立できる環境をつくっていきたい。今後はマスクだけではなく、縫製技術の活用や、医療部品など多岐にわたる事業を展開し、市としても様々な機会をとらえて応援していきたい。

新型コロナウイルス感染症について

～内容～

新型コロナウイルス感染症の状況及びワクチンの接種状況について報告を受けました。

市内の医療提供体制について

～内容～

本市に不足する拠点病院機能を備えた病院の新築の動きについて報告を受けました。

～質疑～

問： 2次救急機能、回復期リハビリ機能、地域連携室、緩和ケア施設、災害医療支援施設、健診センター機能の6つの拠点施設機能を有する医療施設とのことだが、地域連携室や緩和ケア施設等はどのような機能か。

答： 緩和ケア施設については、がん等の患者の痛みを和らげることを目的とした施設で、地域連携室については、急性期を脱した患者の受け入れやかかりつけ医との連携を調整する部署である。また、健診センター機能については、婦人科も含めたがん検診や定期健診等を専用のフロアで行う施設を念頭にしている。

問： 2次救急機能など6つの機能を個別に持っている医療機関はないのか。

答： 個々の機能については現在でも市内の複数の医療機関で持っているが、現在の医療体制を組み合わせても本市に足りないものが何かというのが以前の医療費適正化委員会での議論である。

問： 本市に不足する6つの機能を有する病院を建設するのはいいことだが、市が補助金を交付する理由はどうか。

答： 本市に不足する部分を補うための支援は必要だと考えている。支援を全くせずに機能が十分にそろわない病院ができるよりも、一定の支援をしてそれに応える病院ができるほうが市民に貢献できるのではないかと考えている。